

# 第8回筑波大学応用言語学研究会

【日時】 2011年9月10日(土) 13:00-18:15

【場所】 筑波大学 総合研究棟 A

バス停「筑波大学中央」より徒歩1分

会場：A110号室

13:00-13:05 開会の挨拶

13:05-13:10 発表全体の説明

13:10-14:40 講演

「ポライトネス研究から見たモダリティ」

牧原 功 (群馬大学 准教授)

研究発表	第1会場 A111 (文法関連)	第2会場 A107 (言語教育、談話関連)
14:55-15:35	日本語数量詞 N の QC 型について —照応用法との関係から—  田中 佑 (筑波大学院生)	女性標示語「婦人」について —65年間の新聞で見るその推移—  徐 微潔 (筑波大学院生)
15:40-16:20	日韓における「二重ヲ格(reul)構文」 の再検討 —数量詞構文における認可条件— 安 祥希 (筑波大学院生)	北方領土・択捉島における日本語教育 についての実践報告  入山 美保 (筑波大学院生)
16:30-17:10	根拠を表す「～のことだ(から)」 におけるコトの分析  湯本 かほり (筑波大学院生)	ブラジルの理科教科書と日本の理科 教科書の談話構造の比較  山元 一晃 (筑波大学院生)
17:15-17:55	非恩恵を表すとされる「テヤル」の 意味分析  部田 和美 (筑波大学院生)	反省会における評価とその応答 —専門家が同席する反省会において の知識の交渉— 杜 長俊 (筑波大学院生)

18:00-18:15 総括 (A110号室)

18:30- 懇親会 会費：2,500円 (是非ご参加ください。)

会場：第1学群棟2階 スープファクトリー

筑波大学大学院 人文社会科学研究所 文芸・言語専攻 応用言語学領域

〒305-8571 茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学人文・社会学系棟 B515号室

E-mail: [tsukubaoooyoo@yahoo.co.jp](mailto:tsukubaoooyoo@yahoo.co.jp) URL: <http://www.lingua.tsukuba.ac.jp/~oooyoo/>

交通アクセス: [http://www.tsukuba.ac.jp/access/tsukuba\\_access.html](http://www.tsukuba.ac.jp/access/tsukuba_access.html)